

せ ん ぼ 通信 No.47

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「カップ麺」

今年も、またまた大きな水害が起きました。被害の異常さと、自然の威力に驚くばかりです。

災害時の非常食として、「お湯がなくても、水でカップ麺が食べられる」と書かれていました。ペヤングヌードルで作ってみる。水をいれて15分麺がほぐれたらOK。食べてみると、麺はムキムキしているけどまあまあ。スープはさっぱり感で普通に食べられる…と思った瞬間、3・11の時のように、寒い時だったらどうなる？

冬に災害にあって、お湯もないような状況で水カップ麺を食べたら…みじめさやせつなさで心まで冷えてしまいそう…

やっぱりすすめられないな…と思いましたが、夕食の準備をしていて、ハッと気がつきました。お昼に、水カップ麺と揚げパンだったのを忘れて数時間うごいていたことを。

そう…何も食べないでいるより、水カップ麺でも食べればエネルギーになるのです。

そして、一歩でも前へ進む力になるのですね。

腹がへっては戦ができぬ…

非常食のカップ麺は…水でも食べられます。

「初ものなので食べて下さい」と、いただいたのは…長くて太くて…立派なネギ。真夏の太陽の光をもはね返し…ピカピカ光っている。さっそく包丁でトントン。おもいのほか固いかなあ…と感じながら、刻んだネギをひと口食べてみる…アッあまい…香りもいい。納豆にいれたら、シャキシャキ感が涼しい。後日ご来店のK君と話したら、「良かった、夏出荷用のネギです。初めて作って成功したけど、次回も同じくできるか…勉強ですね」と、謙遜気味のやさしい笑顔。猛暑の今年は、番狂わせがいっぱい…特に農業は。

そんな中、ひとつでも「成功」というのをきいたらうれしいな。

若い力は、心強く…頼もしく、異常気象にも挑戦中…。

ある看護師さんの経験から…

「父が徘徊がひどく、夜寝るとき、父の手と母の手をベルトでつないで寝ていたら、手にアザがあるから、虐待していると言われた。

自分が、この仕事をしていながら、早く寝たきりになればいいとおもった」と。

ホント…認知症の在宅介護の大変さは、経験した人でないとわからないし…きれいごとですまない。

安全上の拘束と虐待は、まったく別のこと。

わが家の柵も、つける前もつけた後も、医師は、「問題ないです。それぞれの家の介護の仕方があっていいです」と。

ナースコールでトイレ介助しているようなもの…。



認知症の母のセーフティガード